

型甲殻類が生息している。魚類は事業実施区域周辺海域に広く分布しており、ヨコシマタマガシラ、ハゲブダイ等のサンゴ礁、海草藻場、リーフエッジの全てにみられる種類と、アミアイゴ、サラサハゼ等の海草藻場に多くみられる種類、セナスジベラ、サザナミハギ等のサンゴ礁に多くみられる種類が生息している。潮間帯にはアオサ属等の小型藻類が着床し、岩盤の間隙に巻貝類や多毛類が生息しており、砂浜域ではウミガメ類の産卵上陸が報告されている。以上のことから、事業実施区域周辺海域は海底部から砂浜までの基盤環境が鉛直的にも水平的にも多様であり、そのため多くの種類の生物が生息している。